九月読み取りおけいこ①低学年　　名前（　　）

九月六日は松（まつ）お大社という大きな神社のおまつりがあります。はっさくさいといいます。はっさくといっても大きなみかんのなかまのことではありません。むかしのカレンダーでの八月一日のことをはっさくといったのです。むかしはお月さまのうごきをもとにしたカレンダーだったので、今のカレンダーとはかなりのずれがあったのです。今のこのじきは米ややさいにとっては大切なじきでした。やけつくようなおひさまがてる夏をぶじのりきるのは米ややさいにとってはたいへんです。毎日お水をもらえるとはかぎりませんからね。

しかもおそろしいのが台風です。お米がせっかくみのりかけても台風のすごい風でなぎたおされたらだめになってしまいます。

それで、むかしからはっさくにはひどい風がふきませんように・たくさん作物がとれますように・家のみんなが安全にくらせますようにとおいのりがされてきたのです。

この日ふつうなら松尾大社にはたくさんのちょうちんがともされ、多くの人でにぎわうのですが、ことしはコロナのためにぎょうじはすべて中止になりました。ざんねんですね。

ちなみにこの松お大社ですが、「はたのとり」という人が七〇一年にたてたという古い神社です。その九年あとにできたふしみいなり大社も、「はたのいろぐ」という人がたてた古い神社です。どちらもはたさん一ぞくの人がたてたのです。はたさんたちはむかしの京都でだいかつやくしていたんですよ。

音どくサイン↓

①なんというおまつりのはなしでしょう？
（　　）

②なぜ米ややさいが夏をのりきるのはたいへんなのでしょう？
（　　）

③このじきおそろしいのは何でしょう？
（　　）

④台風でなぎたおされたらだめになる大切な作物は何でしょう？
（　）いね（　）松（　）すぎ

⑤ちょうちんの中にむかしいれたものはなんでしょう？
（　）ろうそく（　）スマホ（　）かいちゅうでんとう

⑥はたのいろぐがたてた神社はどこですか？
（　　）

⑦松お大社はなん年まえにできたのですか？
（　　）

⑧ふしみいなりやまつおたいしゃをたてたのはだれですか？
（　）かみさま（　）はたさんたち（　）ほとけ

⑨あっているものに〇をつけましょう。
（　）松お大社ははたのりとがたてた。
（　）はっさくさいは九月一日だ。
（　）松お大社にはどひょうはない。

⑩上の話のかんそうを五行でまとめましょう。

できばえは？